

バッテラ

冬

近年、全く見かけなくなった。振り返ればどこにでも置いてあったような気がするが、具体的にどこにかは、もう定かではない。きっとスーパーの総菜売場のいなり寿司や太巻き寿司のお隣に置いてあったのであろう。食べたいと思った時に手軽に手に入ったありがたさが今となっては身に染みるし、容易に入手できない現状が残念でならない。



漆器製造・提供 夏未夕漆綾(かみゆうしつりょう)

なぜ無くなったのかは、人気が無くなったからに尽きるのであろうが、需要が皆無とは絶対言えないはず。「売れ残るなら作らない方がよい」は願けるが、※「ない」から「知らない」世代が跋扈し、「知らない」から「売れない」、「売れない」から「作らない」、「作らない」から「ない」※、※～※の悪循環の構図に陥っているに相違ない。

「知らない」は「その好きを知らない」を意味するところであり、提供側が「その好きを知らない」世代に移行している現状を踏まえると、仕方ないのかもしれない。きっと、「知らない」世代にとっては、数十億光年彼方の星の終焉と同様なのだろう。

それでも、「作り置き」しない方法によって、応えられない需要を満たし、「知る人」から「知らない人」に伝承できる機会を増進させ、その「好き」を継承し続けたい。